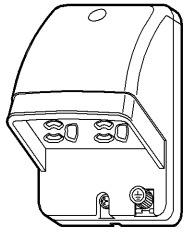


JW-B-9G9GE

防雨形抜止接地
ダブルコンセント
アースターミナル付
露出・埋込兼用
15A 125V



安全上のご注意 ～取付けに関する事項～

【警告】

- 電線は、器具に表示された適用電線をご使用ください。表示外の電線を使用すると発熱する場合があります。焼損や火災の原因となります。
- 結線は、適用電線の被ふくをストリップゲージに合わせてむき、1本づつ心線が見えなくなるまで、奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分ですと発熱する場合があります。焼損や火災の原因となります。
- より線を結線する場合は、必ず弊社指定の棒状圧着端子をご使用ください。ハンダあげたより線や曲がった電線などを使用しますと発熱する場合があります。焼損や火災の原因となります。
- 接地工事は確実にこなしてください。感電の原因となります。
- 取付面は凹凸の無いように仕上げ、防水効果を良くしてください。感電の原因となります。

【注意】

- 器具は必ず地上または床面から30cm以上の高さに取り付けてください。
- 器具は必ず裏面の方向表示(↑上)に従い取り付けてください。
- スイッチボックスが取付面より浮き出ていると、防水効果が悪くなります。
- 器具は付属の絶縁取付枠を變形しないようにボックスねじで締め付けてから取り付けてください。
- 水が常時大量にかかる場所、及び高温・低温・多湿・粉塵の多い場所には取り付けないでください。
- コンクリートやしっくいなどが半乾燥状態のときは取り付けないでください。
- 硫化水素やアンモニアガスなどの多い場所には取り付けないでください。
- 油類が付着しやすい場所には取り付けないでください。

安全上のご注意 ～取扱いに関する事項～

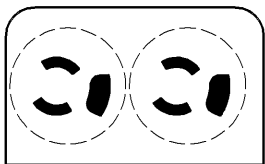
【警告】

- 合計15A以下でご使用ください。発熱により焼損や火災の原因となります。
- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 中途半端な差し込み状態で使用しないでください。感電の原因、発熱による焼損や火災の原因となります。
- ほこり・湿気の多い場所ではプラグを長期間差したままにしないで、定期的に表面や刃と刃の間を乾いた布でふいて、ほこりを取り除いてください。絶縁不良になり、焼損や火災の原因となります。
- 接地リード線付きのプラグをご使用のときは、必ず接地リード線の金属部分をアースターミナルに挟み、ツマミを緩みなく締め付けてください。機器の故障や漏電のときに感電する場合があります。

【注意】

- 器具の取り付けは、必ず電気工事に依頼してください。
- 左右の刃の大きさが違うプラグ(極性区別付プラグ)は使用しないでください。
- プラグの抜き差しが極端に弱い状態で使用しないでください。
- 必ずプラグを持って、挿抜位置でまっすぐに抜き差ししてください。
- カバーなどが破損したままの状態で使用しないでください。
- 油・洗剤・殺虫剤などをかけないでください。

適合プラグ組み合わせ

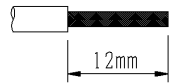


φ32までの接地2P丸形プラグ2個



φ39までの接地2P丸形プラグ1個と2P平形プラグ1個

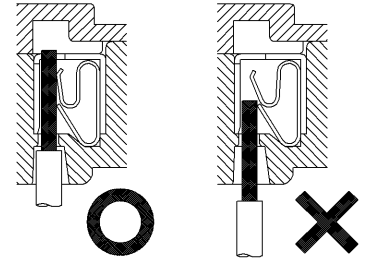
【電線ストリップ】



(許容範囲:11~14mm)



【端子部断面】



- 結線は、適用電線の被ふくをストリップゲージに合わせてむき、1本づつ心線が見えなくなるまで、奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分ですと発熱する場合があります。焼損や火災の原因となります。

取付方法

【適用電線】

- φ1.6φ2 銅単線専用
より線には必ず弊社指定の絶縁被覆付棒状圧着端子(弊社品番:TP-2)をご使用ください。

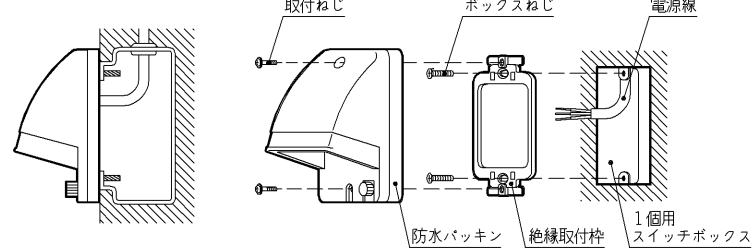
【結線方法】

- ①バックインに示したストリップゲージに合わせて電線被ふくを12mmむく。
- ②電線を1本づつ奥まで確実に差し込む。

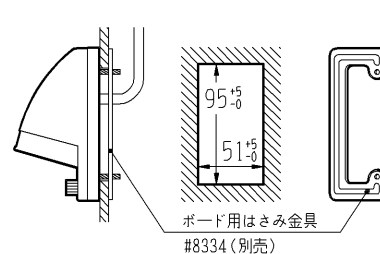
【電線のはずし方】

- ①ドライバーを電線はずし穴に押し込む。
- ②ドライバーを押し込んだ状態のまま電線を引き抜く。

【ボックス工事の場合】

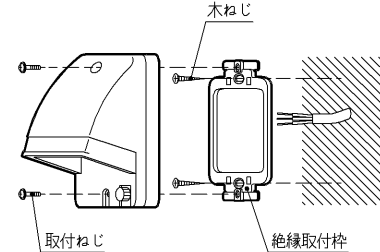


【ボックスなし工事の場合】



- 中空壁にはボード用はさみ金具(弊社品番:8334)をご使用になると最適です。

【露出工事の場合】



- ボックス工事の場合と同様に絶縁取付枠を使用して取り付けてください。